

## ◎ 佐上知事の風致道路

京都府知事の佐上信一さん、地方長官會議の席上で神社建物の保護論やら癩病患者の強制收容論をやつた、何處やら知事サンが國家の特許權を入札の方法で附與しやうと言つたやうな何十年かの昔に聞かされた意見とは違つて、京都らしい實際論として聽者の耳を傾けさせた、其の勢と油とに乗つた譯でもあるまいが、編輯室を訪れて風致道路の改良を吹聴した。

京都府の北海道と言はれてゐる、北桑田郡の黒田から京都に出る黒田京都線の一部で、鞍馬天狗で名高い貴船神社の社頭から奥宮に通ずる部分約八町の府縣道を、改良するのに、自ら設計を立て、風致保存上維持せなければならぬ立木やら奇岩怪石を其の儘にして近代道路を築造したとの自慢話。岩や石があれば夫れを避けて擴げ、清水の流れてゐる貴船川の山水美を發揮せしむる爲に、川添ひの土抱は川石で崩し積にするやら民家側の擁壁も亦同様の積み方にして、石垣の空隙には躑躅や杜鵑花乃至は蕨を植ゑて風致を維持した、京都の道路を築造するには技術的見地ばかりでは駄目だ、と鞍馬天狗に負けない程の鼻の高さ振り。お蔭で土木部長の調所君も、知事さんにお株を取られて意氣あがらない。と言ふことだ。

お江戸で自慢話を聞かされて、流石は路政にかけては良二千石連中の逸物だと感じたが、口善悪ない京童は言つてゐる、そんな道路は嵐山や宇治には大森さん時代に澤山慥えてある筈デッセ、知事さんは旅をなさらないから判らはんのぢやサカイ一遍案内しておあげヤスト、佐上さんが折角考案した道路を夫れ程に賞てやしない、而かも其道路を肥料車が都人の垂れた糞尿を積んで無關心に通つてゐる、此有様を見せられては風致道路も何もあつたものぢや無い、北桑あたりの材木は言つてゐるであらう、夫れよりは俺等が安全に通れるやうにして呉れと。交通に對する天然の障礙を征服する方が可いのぢやあるまいか。技術一點張りで自然の風致を損壞することは、佐上さんばかりでない私でも反對する、併し袴姿のお公卿さんが居ない今の代では、矢張り時代に相應した道路を造るのが肝要だ、併しポケットマネーを狙つて外國人を我國に誘致しやうとしてゐる鐵道省が、態々觀光局を設置した趣旨からすると、或は風致道路も必要であらう、併し私共は内地産業の發達を柵に上げておいて、伊勢乞食みたいに人の懐を狙ふやうな江木鐵相の方針には全然反對だ、で風致道路の築造にも俄に賛成することが出来ない。(た)